

LAN iSilencer の導入(7) (HP 収載)

—DSD 録音—

1. はじめに

LAN iSilencer の導入以来、種々のストリーミング再生について音質を確認してきましたが、今回それらの録音を行います。

2. LAN iSilencer の試聴方法

LAN iSilencer はルーターからスイッチングハブへの LAN 接続のスイッチングハブの入力側にセットしています。

再生と録音経路は次のとおりで、それぞれに仮想アースを使用していますので、LAN iSilencer とこれらの仮想アースに効果を合わせて確認することになります。録音は DA-3000 により 5.6MHzDSD で録音します。

ルーター→スイッチングハブ→PC→Sonica DAC→DA-3000

スイッチングハブ：自作仮想アース

PC：Crystal E Jtune

Sonica DAC：Crystal Ep

DA-3000：自作仮想アース

録音対象の音源は、PC による STAGE+と Spotify の再生から選んでいきます。

3. LAN iSilencer の試聴結果

STAGE+から下記を録音しました。

シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」1 楽章

リサ・パティアシュベリ他

ベートーヴェン ピアノソナタ 32 番

マウリチオ・ポリーニ(ピアノ)

Spotify から下記を録音しました。

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲 Fmajor

Hrriet Krijgh(チェロ)

Candida Thompson 指揮 Amsterdam Symfonietta

J.S.バッハ リュート組曲 Gminor

Alberto Grugnola(リュート)

DA-3000 による 5.6MHzDSD 録音音源は、PC にコピーし、TEAC Hi-Res Editor で再生します。

シューベルトのピアノ 5 重奏曲「鱒」は、パティアシュベリのヴァイオリンその他の弦の艶や、小ホール収録のピアノとコントラバスの豊かな響きが聴きどころですが、5.6MHzDSD 録音でも忠実に再現されています。

ベートーヴェンのピアノソナタ 32 番は、ポリーニの弾く Fabbrini の打鍵と余韻、ホールの豊かな間接音が、5.6MHzDSD 録音でも忠実に再現されています。ヴィヴァルディのチェロ協奏曲は、チェロの質感や Thompson 指揮 Amsterdam Synfonietta のアンサンブルの間接音も含めた音場表現は、圧縮音源と思えないレベルに達していますが、5.6MHzDSD 録音でも再現されています。

バッハのリュート組曲は、弦のピックの状態や胴鳴りが、とても圧縮音源と思えないレベルに達していますが、5.6MHzDSD 録音でも再現されています。

4. まとめ

STAGE+と Spotify の再生における、LAN iSilencer と仮想アースの効果が、DSD 録音においても確認できました。

以上